

## 4 特別支援教育の充実

5年度当初 2,346,223千円

### 【基本的な考え方】

インクルーシブ教育を推進する中で特別支援教育の諸課題に対応していくために、令和4年3月に策定した「かながわ特別支援教育推進指針」に基づき、県立特別支援学校の新校等整備や医療的ケア児支援を進める。

また、県立特別支援学校に在籍する児童・生徒の通学のため、スクールバスの運行を行うとともに、県立特別支援学校で学ぶ児童・生徒の学習理解の促進及び自立と社会参加を進めるため、情報教育を推進する。

### 1 県立特別支援学校の新校等整備

191,582千円

特別支援学校での教育を必要とする児童・生徒の増加や、国の特別支援学校設置基準制定に伴う受入れ枠不足に対応するため、新校等の整備に向けた設計等を行う。

#### ① 川崎南部方面特別支援学校の整備

旧河原町小学校跡地に県立特別支援学校（知的障害教育部門）を新設するため、調査設計を行う。							20,300千円
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
←→ 測量調査	←→ 調査設計	←→ 基本・実施設計		←→	←→ 新築工事	○ 設置予定	◎4月開校予定

#### ② 湘南方面特別支援学校の整備

総合教育センター旧亀井野庁舎を増改築し、肢体不自由教育部門を設置するため、基本設計を行う。							47,800千円
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
←→ 測量調査	←→ 基本設計	←→ 実施設計	←→	←→ 増改築工事		◎4月開設予定	

#### ③ その他の調査費等

旧菅田小学校（横浜市神奈川区菅田町）に県立特別支援学校を新設するための敷地測量調査などを行う。	123,482千円
---	-----------

### 2 医療的ケア児支援のための環境整備

281,464千円

#### ④ 県立特別支援学校の看護師の適正配置

医療的ケアの必要な児童・生徒を支援し、より安全に学べる環境を整備するため、看護師を増員配置する（69人 ⇒ 72人）。	121,464千円
---	-----------

#### ⑤ 医療的ケア児の通学支援

スクールバスに乗車できない医療的ケア児の通学について、福祉車両等を活用した支援を拡充する（10台 ⇒ 40台）。	160,000千円
--	-----------



3 スクールバス等による通学の支援

1,812,508千円

⑥ スクールバスの運行

県立特別支援学校に在籍する児童・生徒の通学のため、スクールバスの運行を行う（118台 ⇒ 120台）。	1,646,538千円
---	-------------

⑦ 高等部知的障害教育部門の生徒への通学支援

<p>県立特別支援学校の高等部知的障害教育部門の生徒のうち、自力通学は困難だが支援があれば通える生徒に対して、通学の見守りと支援を行う通学支援員を配置（12校25人・人件費対応）する。</p> <p>障がいの状態等により通学支援員がいても公共交通機関での通学が難しい生徒に対し、学びの保障の観点から、マイクロバスの運行を行う（登校便10校10台）。</p>	99,874千円
--	----------

⑧ スクールバスにおける感染症対策（再掲）

新型コロナウイルス感染症対策として、1台のスクールバスに乗車する児童・生徒の少人数化を図るため、マイクロバスの運行を行う（8台 ⇒ 9台）。	66,096千円
--	----------

スクールバス等の台数

スクールバス (大・中型バス)	120台	中原支援学校 <sup>(※)</sup> （7台）ほか113台
知的・高等部 マイクロバス	10台	金沢支援学校 <sup>(※)</sup> （1台）ほか9台
感染症対策用 マイクロバス	9台	鶴見支援学校 <sup>(※)</sup> （2台）ほか7台
計	139台	



(※) 「養護学校」はR5.4.1に「支援学校」へ名称変更予定

4 県立特別支援学校における情報教育の推進

60,669千円

⑨ 情報機器の整備

児童・生徒がいつでも情報機器を使用できる環境を維持するため、整備した情報機器の更新等を行う（タブレット端末240台・PC10台、その他周辺機器等）とともに、デジタル教科書への対応を見据え、タブレット端末100台を新規配備する。	60,669千円
---	----------

(問合せ先) 教育局支援部特別支援教育課 課長 片山 電話 045-210-8214